

新任

事務部長あいさつ

～再びのこども病院勤務に気の引き締まる思いです～

事務部長 杉山 倫 英

この4月に事務部長を拝命しました杉山と申します。

3月までは静岡県庁の監査課に所属し、県庁の全所属約500箇所の監査を実施しておりました。

私事にはなりますが、2007年度（平成19年度）から3年間、総務係長としてこども病院にお世話になっておりました。赴任した時には、ちょうど循環器センター、周産期センター、PICU、外科病棟が入る西館が竣工し、そのオープニング式典を担当することになりました。式典には知事を始め、県内外から多くの関係の皆様にご参加いただき、盛大に開催できたことを今でも鮮明に覚えています。

それから10数年が経ち、再びこども病院勤務となりました。その間のこども病院の変化を見ますと、小児がん拠点病院や小児救命救急センターの指定、新外来棟の整備など止まることなく進化が続いています。今回、またその一員となりましたことを光栄に思っています。

少子高齢化が言われて久しくなりますが、昨年の全国の出生数は80万人を割り込み、少子化対策は待ったなしの状況であると強く感じております。

この4月には、政府にこども家庭庁が発足しました。静岡県立こども病院は本県の小児医療の最後の砦として、県内で暮らすお子様やそのご家族はもちろんのこと、お子様を取り巻くすべての皆様に安心を提供する存在として、益々その役割は重要になっていくと強く感じております。また、自分自身その病院に勤務することに改めて気の引き締まる思いでおります。

地域の医療機関の皆様のご協力、皆様方との連携によりまして、医療を必要とされる皆様から信頼される病院となるよう、私も事務部長として皆様からのご意見ご指導をいただきながら精進してまいりますので、よろしくお願いいたします。



こどもに優しく、病気に厳しく、診療は楽しく

～こども病院の中での総合診療科の役割～

総合診療科々長 山内 豊 浩



平素よりお世話になります。

静岡県立こども病院総合診療科々長の山内豊浩と申します。

今回、総合診療科について紹介します。

当科は2008年に開設された、当院の中では比較的新しい診療部門です。開設時のスタッフは3人と小所帯でしたが、現在は7人のスタッフで日々の診療を行っています。

小児専門病院の中で、「総合診療科は何をしているか」ご存じない方もあるかと思います。このコラムを通して少しでも当科のことを知っていただければ幸いです。

私達は小児救急センターでの救急診療、一般外来での外来診療、病棟での入院診療を行っています。

【救急医療】

小児救急センターは、静岡市内や近隣の市からの救急搬送、かかりつけの小児の緊急受診、医療機関からご紹介いただいた小児の緊急受診の対応をしています。

小児救急センターでは、主に私達と小児科専攻医が看護師、事務員と協力して患者の初期対応（ファーストタッチ）をしています。

かかりつけの小児については、症状や疾患によって、各診療科の先生方に協力を仰いで診療をしています。

また、外傷患者や重症患者の対応については、外科系診療科の先生方や集中治療科の先生方に協力を仰いでいます。

その他に、静岡市の二次救急輪番日には直接当院を受診される小児の診療もしています。

専攻医は、研修途中のため至らぬこともあるかと思いますが、将来の小児医療の担い手となるために、日々研鑽しています。

そして、3年間の研修の終了時には、一通りの診療ができるようになって当院の研修プログラムを卒業していきます。

【総合診療科が行う一般診療】

当科に入院する小児は、小児救急センターからの緊急入院、集中治療室での治療から一般病棟での治療への移行、診断がつく前の検査入院と診療内容が多岐に渡ります。

また、経管栄養、喀痰吸引や気管切開などの医療的ケアを必要とする患児については、多職種のスタッフと協力してご家族の指導をしています。

時には、心身合わせた治療を必要とする神経性無食欲症の児をこころの診療科の先生方と協力して診療しています。

定期外来には、ご紹介いただいた患児の診断を行うために検査を行い、前述の医療的ケアを要する小児の定期受診などを行っています。

近年は、10代の紹介が増え、症状は様々ですが、検査を行っても器質的な疾患は認めず、対症療法を行いつつ、こころの診療科に紹介することもあります。

この他にも、感染症医による院内外の感染症業務、医療的ケアを要する児が通う学校との連携、虐待が疑われる児の診療など様々な分野で活動しています。

【多岐に渡る診療】

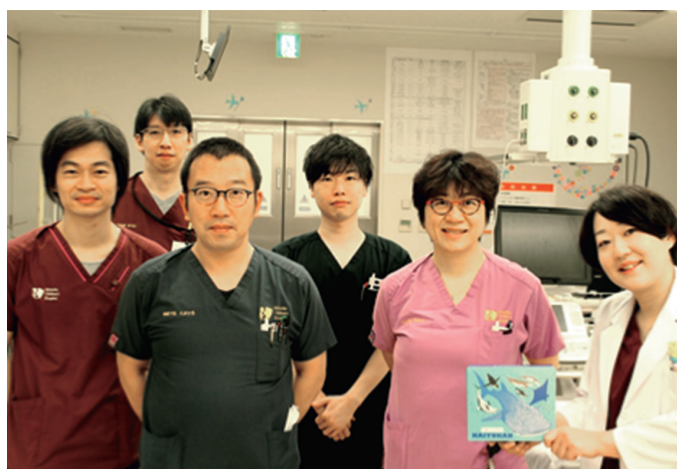
従来 of 専門科だけでは、受診先が見つからない児や、複数の診療科に通院されている児の各診療科との調整などもしています。

私達は、それぞれが得意とする分野は異なり様々な角度から一人の子どもを診ています。

また、診療する子どもだけでなく、そのご家族やその児に関わる様々な職種や立場の方々のごとも考えて、その子の治療方針について協議しています。

疾患によっては、時に大事な選択を必要とすることもあります。その児に関わる全ての人と共に、その児にとって何がよい選択なのかを考えて治療方針を決定しています。

私たちはいつも子どもの声を聴いています。



最後になりますが、以前、当科に在籍したスタッフが考えてくれたスローガンを紹介します。表題にもしていますが、これ無くして小児医療は成り立たないと感じています。

『こどもに優しく、病気に厳しく、診療は楽しく』

新任

看護部長あいさつ

看護部長 内藤 美樹



今年度より看護部長を拝命いたしました内藤美樹です。

静岡に引っ越しをしてきて26年が経ちました。静岡県は温暖で海や山に囲まれ自然豊かで過ごしやすかったこと、そして何より働きやすい環境に恵まれ、自分の看護師としてのやりがいを見つられたことが、働き続けられる理由だと思っております。

看護の道を志したときに教員より看護の「看」の字は「手と目」とであると教えられ、自分の手で何ができるのか、自分の目で何が見えるのかを考えさせられました。看護師として「誰のために」「何のために」「何ができるのか」「何をすべきなのか」を考え仕事をしてきました。

患者様とのふれあいや職種間での意見交換は有意義であり、多くの学びがありました。これは今後も看護師として働き続ける上で継続されるものと思っております。

当院では「こどもの生命と権利を尊重し、家族とともにこどもの心身の健康と成長・発達を支援します」という看護部理念の基、看護師は患者様とご家族が安心して治療を受けられるように、療養環境も含めて看護を展開しております。看護職員は全職員の約半数を占めています。個々がたくさんの経験と知恵を持っています。これらを持ち寄り「患者様にとっての最善は何か」を追求すれば、一人ではできないことも何かができると思えます。

医療の進歩や社会情勢が多様化する中、医療者に求められることも変化してきています。患者中心の医療サービスが継続できるよう、地域の医療機関様と連携し、常に今より良い状態を追求していきたいと思えます。ご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

新任

医療安全管理部長あいさつ

医療安全部部长 田代 弦



田代弦と申します。以前は脳神経外科に所属しておりましたが、今年度より医療安全部部长に就任いたしました。

臨床を離れ、病院全体の医療安全を見守り管理する立場となりました。即ち、安全管理体制構築から院内安全文化醸成を目標としています。具体的には職員への教育/研修、医療事故防止に繋がる情報収集/分析/対策立案、そして医療事故への対応と様々な業務に臨むことになります。

これまでの臨床医としての立場では、ヒューマンエラーが原因となる医療事故は、個々人での確認や自覚で防止するしかないと考えていました。しかし管理室で個々の失敗やエラーを分析していくと、そこに至るまでの複数の職員関係、多部署を経る仕事の流れ、現場の生の声などを逐一理解してこそその医療安全管理とさとりました。

現場の状況や人の気持ちを理解し、防止策と一緒に考え、やる気を起こさせてくれる医療安全管理室をスタッフ共々目指します。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

坂本院長がインドで表彰されました。



令和5年度2月16日（木）から19日（日）まで、インド（コインバートル）において、第69回インド心臓血管胸部外科学会学術集会が開催されました。坂本院長はその集会に招かれ、長年にわたる活動や貢献に対し「インド心臓血管胸部外科学会の国際特別会員」として表彰されました。



看護部新入職者紹介



今年度、看護部は新たに23人の仲間を迎えました。
フレッシュな感性を磨き、看護実践力向上に努めています。
成長を温かく見守り、ご支援くださることをお願いいたします。



組織改正・人事異動情報

令和5年4月の人事異動により、職員を採用・退職・転入・転出がありました。

役職別主要一覧 変更箇所は赤字になっております。

R 5.4.1 現在

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
院長	坂本 喜三郎	リハビリテーションセンター長	真野 浩志	【診療科】	
副院長	田中 靖彦	移植センター長	北山 浩嗣	総合診療科長	山内 豊浩
副院長	猪飼 秋夫	輸血・細胞治療センター長	堀越 泰雄	小児感染症科長	荘司 貴代
副院長	河村 秀樹	小児がんセンター長	渡邊 健一郎	小児内科長	勝又 元
副院長	渡邊 健一郎	ゲノム医療センター長	清水 健司	小児救急科長	唐木 克二
医療安全部長	田代 弦	IVRセンター長	金 成海	集中治療科長	川崎 達也
医療連携部長	猪飼 秋夫	エコーセンター長	新居 正基	腎臓内科長	北山 浩嗣
情報管理部長	河村 秀樹	【室長】		神経科長	松林 朋子
救急総合診療・地域医療部長	河村 秀樹	医療安全管理室長	田代 弦	免疫アレルギー科長	目黒 敬章
器官病態系内科診療部長	渡邊 健一郎	医療品質向上室長	田代 弦	内分泌科長	上松 あゆ美
外科系診療部長	奥山 克己	感染対策室長	荘司 貴代	糖尿病・代謝内科長	佐野 伸一朗
移植再生医療部長	渡邊 健一郎	地域医療連携室長	北山 浩嗣	臨床検査科長	河村 秀樹
こころの診療部長	大石 聡	育児環境支援室長	田代 弦	血液凝固科長	堀越 泰雄
手術・材料部長	奥山 克己	入退院支援室長	河村 秀樹	産科長	河村 隆一
放射線診療部長	小山 雅司	総合医療相談室長	北山 浩嗣	新生児科長	中野 玲二
診療支援部長	田代 弦	ボランティア活動支援室長	上松 あゆ美	循環器科長	田中 靖彦
事務部長	杉山 倫英	褥瘡対策室長	加持 秀明	不整脈内科長	芳本 潤
看護部長	内藤 美樹	栄養サポート室長	福本 弘二	心臓血管外科長	猪飼 秋夫
【センター長】		国際交流室	坂本 喜三郎	小児外科長	福本 弘二
患者サポートセンター長	目黒 敬章	臨床研究室長	渡邊 健一郎	消化器外科長	福本 弘二
チーム医療推進センター長	田代 弦	治験管理室長	青島 広明	呼吸器外科長	福本 弘二
移行期医療支援センター長	猪飼 秋夫	研究支援室長	広瀬 圭一	脳神経外科長	石崎 竜司
臨床研究支援センター長	渡邊 健一郎	診療情報管理室長	河村 秀樹	整形外科長	滝川 一晴
研修推進センター長	松林 朋子	診療画像管理室長	小山 雅司	形成外科長	加持 秀明
予防接種センター長	松林 朋子	ITシステム管理室長	芳本 潤	眼科長	武田 優
総合診療センター長	山内 豊浩	臨床工学室長	福本 弘二	耳鼻いんこう科長	橋本 亜矢子
小児救急医療センター長	唐木 克二	中央滅菌材料室長	田代 弦	泌尿器科長	濱野 敦
成人移行・診療センター長	満下 紀恵	放射線技術室(代行)	梅田 聡志	歯科長	渡邊 桂太
集中治療センター長	川崎 達也	検査技術室技師長	神園 万寿代	病理診断科長	岩淵 英人
血友病診療センター長	小倉 妙美	輸血管理室長	堀越 泰雄	リハビリテーション科長	真野 浩志
周産期母子センター長	中野 玲二	成育支援室長	溝渕 雅巳	血液腫瘍科長	渡邊 健一郎
循環器センター長	田中 靖彦	リハビリテーション室長	真野 浩志	遺伝染色科長	清水 健司
脊椎診療センター長	滝川 一晴	心理療法室長	大石 聡	発達小児科長	溝渕 雅巳
二分脊椎センター長	石崎 竜司	栄養管理室長	鈴木 恭子	こころの診療科長	大石 聡
頭蓋顔面・口蓋裂センター長	加持 秀明	薬剤室長	青島 広明	麻酔科長	奥山 克己
				放射線科長	小山 雅司

静岡県立こども病院QRコード



★ホームページ

様々な情報の発信や内容の充実につとめています。
お知らせは定期的に更新しています。是非ご覧下さい。

←こちらからアクセス

編集後記

新たな年度です。周りの緑と同じフレッシュなメンバーが揃いました。

本年度もよろしくお願いいたします。

編集室：河村秀樹、美濃部晴美、望月美貴子、野中幸子